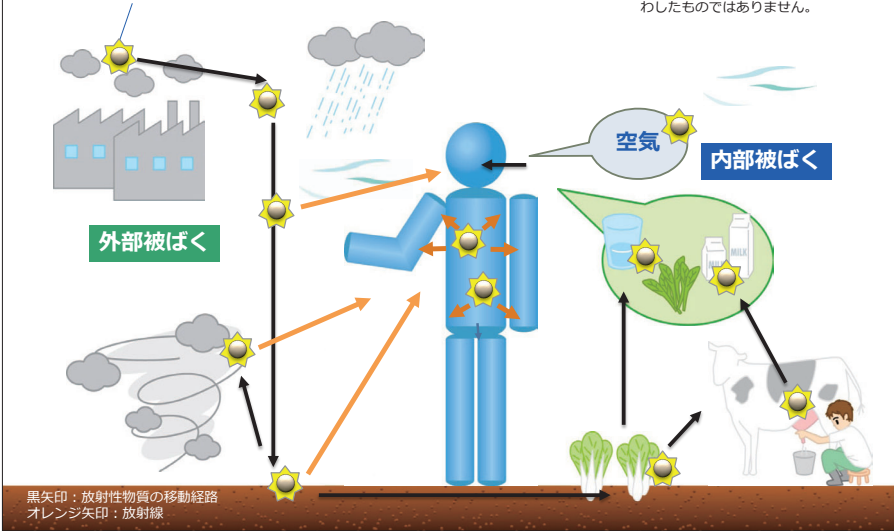


## 放射性物質（放射性ヨウ素、放射性セシウムなど）

(注) 一般的に原子力発電所事故が起きた際に想定される影響をあらわしたものであり、福島第一原発事故の影響をあらわしたものではありません。



福島第一原発事故のように、原子力発電所が大きな事故を起こすと大量の放射性物質が原子炉から漏れ出ることがあります。放射性ヨウ素や放射性セシウムなどがその代表です。

この放射性物質が、大気中をふわふわと拡散していきますが、その間に少しずつ地表に落ちてきます。特に雨が降ると、雨と一緒に放射性物質が地面に落ちます。放射性物質が体の表面に付くこともあります。このように、空気、土壌、そして体表にある放射性物質から放射線を受けることがあります。これが外部被ばくです。

一方、空気中や土壌の放射性物質が、水や食べ物に入って、それを口にしたたり、空気中の放射性物質を呼吸と一緒に体の中に取り込んだりして、体の中から放射線を受けることがあります。これが内部被ばくです。

外部被ばくや内部被ばくという言葉はどちらも「放射線を受けている」ことをさし、影響のあるなしを意味するものではありません。また自然界からの放射線、事故由来の放射線、医療放射線といった区別なく用いられる言葉です。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2015年3月31日